

革新的技術実証事業の紹介

北部九州における稲麦大豆多収品種と省力栽培技術を基軸とする 大規模水田高度輪作体系の実証

【北部九州低コスト水田輪作体系実証グループ】

【背景】

北部九州地域は日本で最大の二毛作水田地帯ですが、担い手の高齢化や減少が進み、水稻・麦類・大豆の収量が低迷しています。今後、経営規模の拡大が予想されることから、暖地に適した省力で低コストな生産技術体系を早急に確立する必要があります。私達のグループはその実証試験に取り組みます。

【内容】

佐賀県と福岡県の2箇所の農家圃場で実証を行います。佐賀県においては、地下水水位制御システム(FOEAS)を活用し、水稻の多収品種「たちはるか」のべんがらモリブデン粉衣種子を利用した湛水直播、裂莢しにくい大豆品種「サチユタカ A1 号」の

密植栽培、大麦多収品種「はるか二条」の表層散播技術体系を実証します。福岡県においては、播種機の汎用利用による水稻乾田直播、麦類・大豆の省力・低コスト生産技術体系を実証します。

【目標】

多収の新品種を活用して生産物の単位重量当たり生産コストを、平成20年度の統計値に比べて、水稻 60%減、麦類で 15-20%減、大豆で 45-50%減が可能となる技術の実証を目標としています。さらに、こうした新品種の流通ルートを開拓します。

【水田作・園芸研究領域 田坂 幸平】

◆省力・低コスト播種技術の実証

- ▶ 表層散播機による小麦・大麦、水稻乾田直播技術(大豆への汎用利用も検討)
- ▶ 麦大豆用播種機の汎用化による水稻乾田直播栽培技術、大型機械体系を利用した低コスト水田輪作体系
- ▶ 浅耕播種を改良した大豆・小麦省力栽培技術
- ▶ 大豆一工程播種・狭畦密植栽培
- ▶ べんがら・モリブデン水稻湛水直播栽培技術

◆省力・低コスト栽培向け多収新品種の生産・販売

- ▶ 直播向け多収良食味水稻品種「たちはるか」の多収栽培と業務用米としての流通
- ▶ 大麦品種「はるか二条」の多収栽培と精麦用、醸造用としての流通
- ▶ 耐倒伏性で難裂莢性大豆品種「サチユタカ A1 号」の多収栽培と豆腐加工用としての流通

◆省力・低コスト・多収栽培管理技術の実証

- ▶ FOEASを活用した水管理栽培
- ▶ 土壌物理性診断と漏水防止技術
- ▶ 乗用管理機搭載施肥機による麦穂揃期省力追肥
- ▶ 総合的雑草管理技術



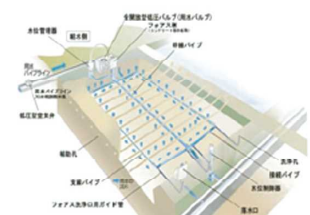
表層散播機による一工程播種

部分浅耕一工程播種



直播栽培の水稻「たちはるか」

狭畦密植の大豆「サチユタカ A1 号」



FOEASによる水管理技術



べんがら・モリブデン粉衣種子のショットガン湛水直播



表層散播した大麦「はるか二条」



小麦「ラー麦」ブランド力向上のための品質安定栽培



高効率乗用散布機による追肥

達成目標：生産物当たりの生産コストを、H20年産統計値に対して、
水稻 60%減、麦類で 15-20%減、大豆 45-50%減が可能な輪作体系の実証

図 実証する技術内容と目標